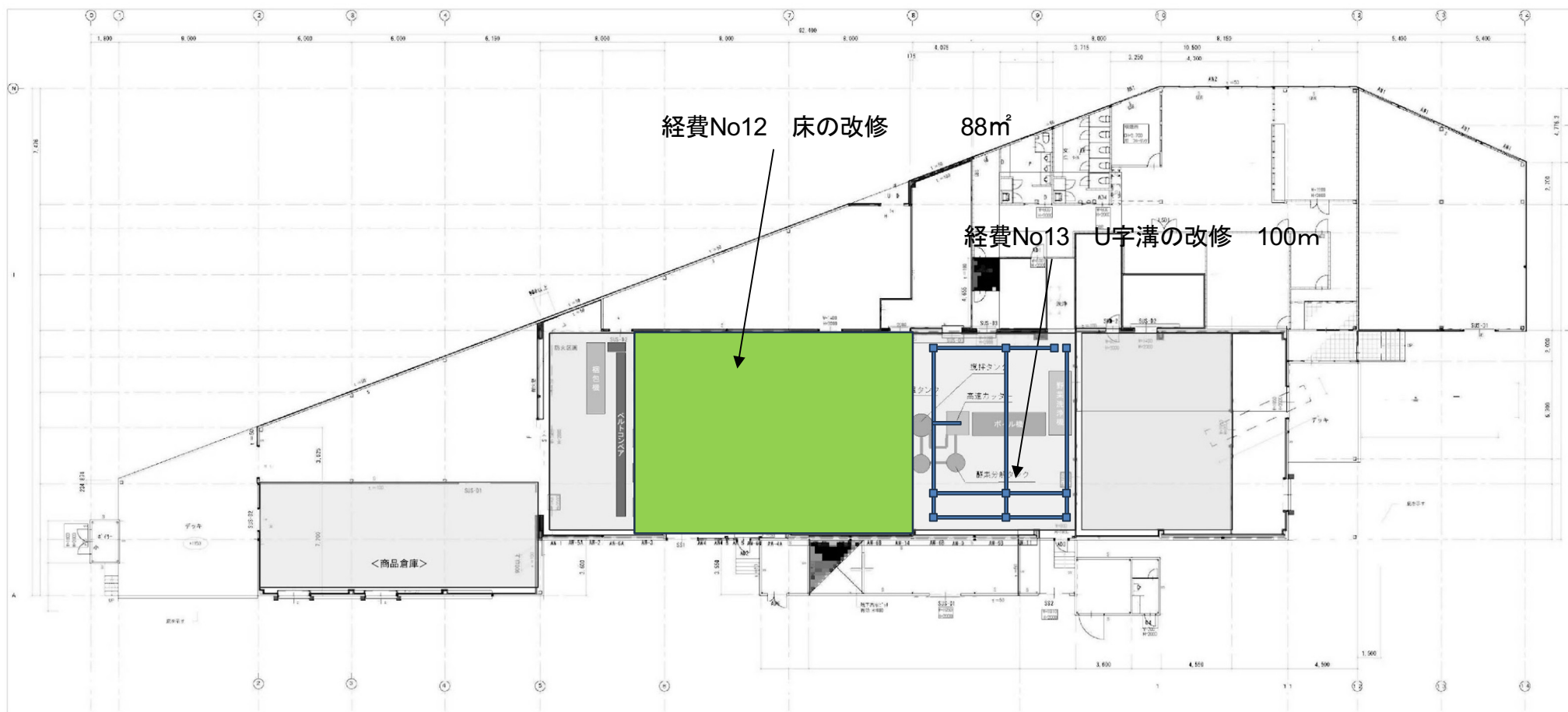


# <経費配置図>



●エポキシ樹脂無溶剤形・厚膜タイプ(2液) ※公共建築工事標準仕様書適合品

JIS K 5970 建物用床塗料認証品 認証番号 JP0309002(ユータックE-30N) F☆☆☆☆(ホルムアルデヒド放散等級/室内使用無制限)

# ユータックE-30N



「ユータックE-30N」はエポキシ樹脂無溶剤形の塗り床材です。レベリング性に優れ、シームレスで鮮やかな光沢のある仕上がりが得られます。塗膜の収縮が少なく、強靱な塗膜と抜群の耐久性を発揮します。工法に多くのバリエーションがあり、用途に適した各種の仕上げが可能です。



## 特長

- ①コンクリートなどの下地に強力な付着性を示します。
- ②耐摩耗性、耐衝撃性、耐薬品性に優れ、高度な耐久性を発揮します。
- ③レベリング性が良好なため施工が容易で、シームレスに仕上がります。
- ④豊富な工法とカラーが揃っており、使用目的にあわせてお選びいただけます。

## 主な用途

●=おすすめできる場所  
○=使用可能な場所

- 製薬工場 ●機械・部品組立工場・整備工場
- 弱電工場・精密工場
- 車両・フォークリフトなどの通行床
- 台車・手押し車などの通行床 ●研究施設・実験室
- 学校・病院・事務所・ホール・店舗・内部階段・廊下・食堂
- バックヤード ●展示場(コンクリート面)
- 印刷工場 ○食品製造加工工場・清涼飲料水工場
- 醸造工場 ○化学薬品工場・メッキ工場
- 工場の各種廃液処理施設
- 工場の事務所・更衣室・食堂・廊下
- 冷蔵倉庫・冷凍倉庫 ○機械室・電気室
- 厨房・給食センター・洗浄室
- ギャラリースタンド
- 駅のプラットフォーム・コンコース
- 駐車場・駐輪場(コンクリート面)

## 色彩

標準色18色

●印刷のため、実際の仕上がりとは相違があります。ご了承ください。  
●ライン用については最寄りの営業所へお問い合わせください。



## 容量

●印の製品には、一般型、夏型、冬型のB液があります。施工時の気温や下地湿度を確認し、施工条件に合ったB液を選択してください。

- ユータックECプライマー……  
16kgセット (A液: 12kg B液: 4kg)  
4kgセット (A液: 3kg B液: 1kg)
- NT水性速乾プライマー……  
12kgセット (A液: 3kg B液: 9kg)  
4kgセット (A液: 1kg B液: 3kg)
- ユータックプライマーECO……  
10kgセット (A液: 7.5kg B液: 2.5kg)
- ユータックカラコンプライマー……  
16kgセット (A液: 12kg B液: 4kg)  
4kgセット (A液: 3kg B液: 1kg)
- ユータック油面用プライマーS  
16kgセット (A液: 12kg B液: 4kg)
- NTミラクルフィラー……20kgセット  
(A液: 4kg B液: 4kg パウダー: 12kg)
- ユータックE素地調整材ECOグレー……  
17.5kgセット (A液: 15kg B液: 2.5kg)
- ユータックE樹脂モルクリヤー……42kgセット  
(A液: 28kg [14kg×2缶] B液: 14kg)
- ユータックE-30N……  
15kgセット (A液: 12.5kg B液: 2.5kg)  
6kgセット (A液: 5kg B液: 1kg)
- ユータックE-40……  
16kgセット (A液: 12kg B液: 4kg)  
4kgセット (A液: 3kg B液: 1kg)
- ユータックR……  
18kgセット (A液: 15kg B液: 3kg)  
6kgセット (A液: 5kg B液: 1kg)
- ユータックTMプロテクト……8kg
- タフクロス#21……1,040mm×100m
- ミルコンMS-2……5kg

### ユータックE-30N関連各製品 希釈剤・希釈率・施工間隔(23℃)

製品名	希釈剤	希釈率	施工間隔
ユータックECプライマー	ユータックEシンナー	0~15%	3時間以上72時間以内
NT水性速乾プライマー	無希釈	—	4時間以上48時間以内
ユータックプライマーECO	無希釈	—	12時間以上72時間以内
ユータックカラコンプライマー	ユータックEシンナー	0~15%	3時間以上72時間以内
ユータック油面用プライマーS	無希釈	—	3時間以上72時間以内
NTミラクルフィラー	無希釈	—	9時間以上72時間以内
ユータックE素地調整材ECOグレー	無希釈	—	12時間以上72時間以内
ユータックE樹脂モルクリヤー	無希釈	—	12時間以上72時間以内
ユータックE-30N	無希釈	—	12時間以上72時間以内 歩行可能…12時間以上 養生……48時間以上
ユータックE-40	ユータックEシンナー	0~10%	歩行可能…12時間以上 養生……48時間以上
ユータックR	ユータックRシンナー	10~20%	歩行可能…3時間以上 養生……48時間以上
ユータックTMプロテクト	無希釈	—	歩行可能…24時間以上 養生……48時間以上

# ユータックE-30N

## 試験成績

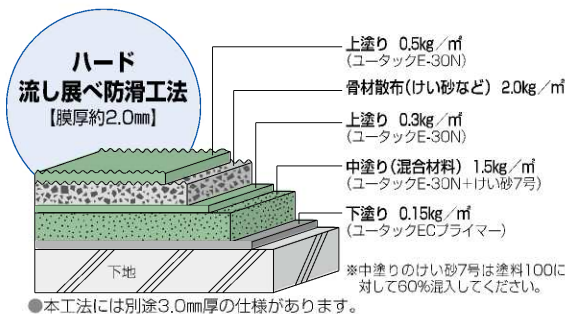
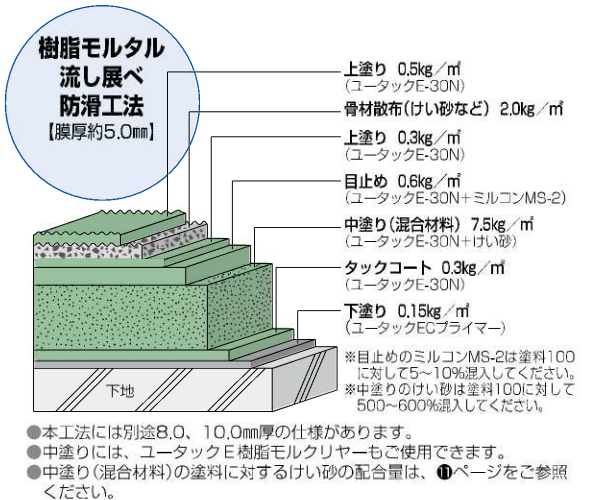
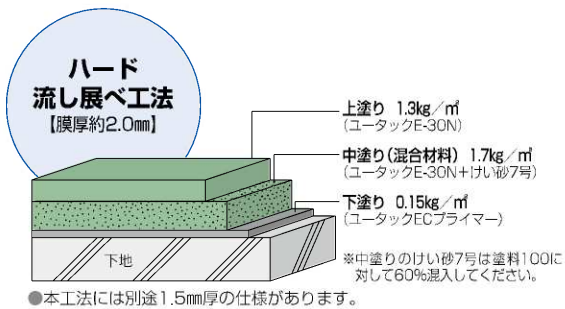
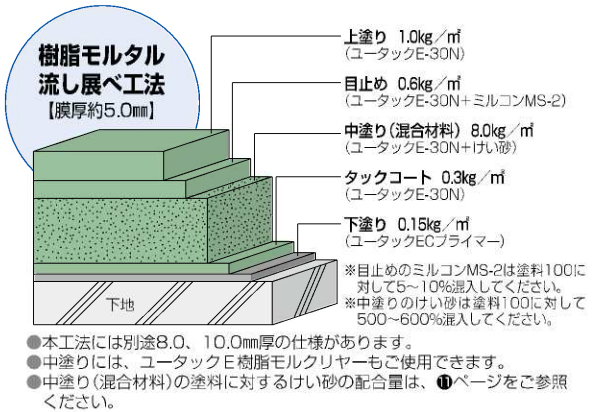
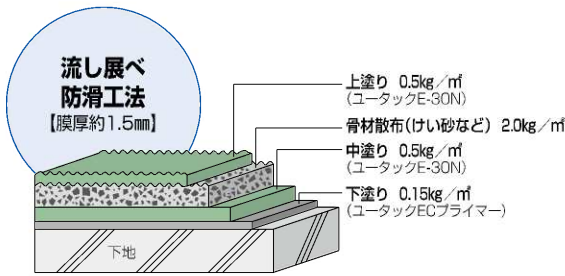
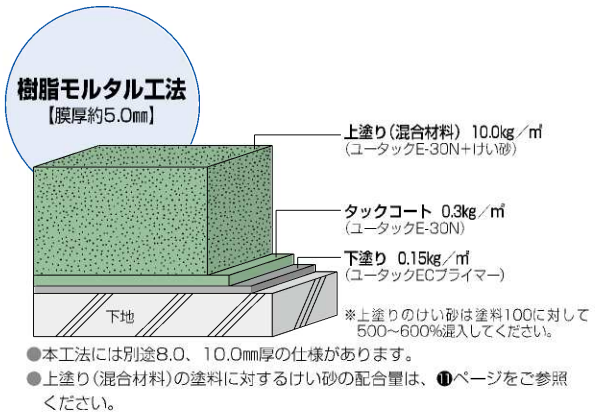
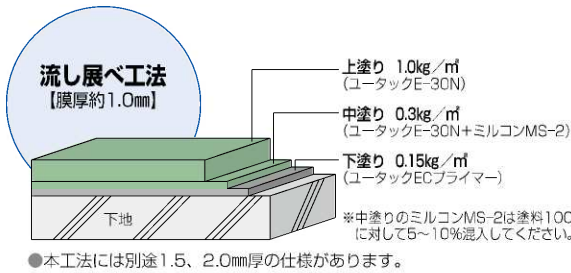
試験項目	試験結果	試験法
硬度	83	JIS K 6253 硬度計 D
引張接着強さ	2.45N/mm <sup>2</sup> (素地破壊)	JIS A 5536
摩耗質量	100mg	JIS K 7204/テーバー摩耗試験機(摩耗輪CS-17 9.8N荷重 1000回転)
吸水性	0.47%	JIS K 6911準拠 23℃ 蒸留水 7日間浸漬
	0.25%	JIS K 6911
すべり抵抗性*1	0.90 (乾燥面)	日本塗布床工業会試験法/C.S.R. (すべり抵抗係数)
	0.85 (湿潤面)	
すべり抵抗値*2	100 (乾燥面)	BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)
	25 (湿潤面)	
難燃性(酸素指数)	26以上	JIS K 7201

\*1 すべり抵抗性の数値は2ページの「C.S.R.値とすべりの程度の関係」をご参照ください。

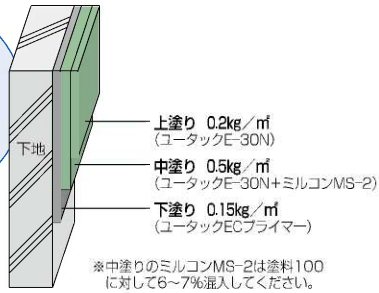
\*2 すべり抵抗値の数値は2ページの「BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)とすべり程度の関係」をご参照ください。

## 工法

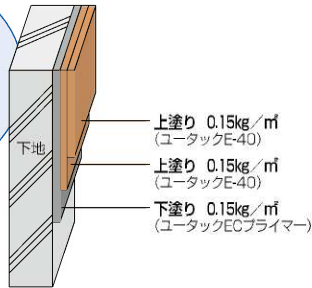
- 詳細については、最寄りの営業所までお問い合わせください。
- 屋内外にかかわらず紫外線が当たる場所は、上塗りに耐候性トップコートを施工してください。
- 環境条件により白化、膨引けの可能性がります。



### 立上り工法

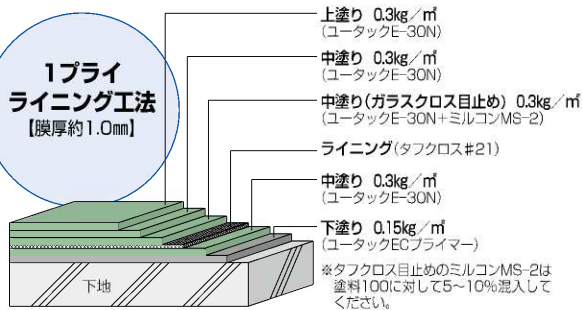


### 立上り 薄膜工法



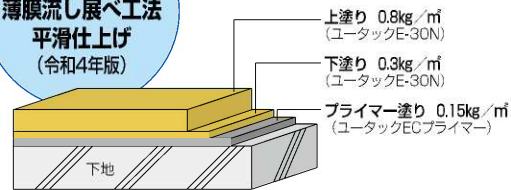
●上塗りには、ユータックR、ユータックSなどもご使用できます。

### 1プライ ライニング工法 【膜厚約1.0mm】

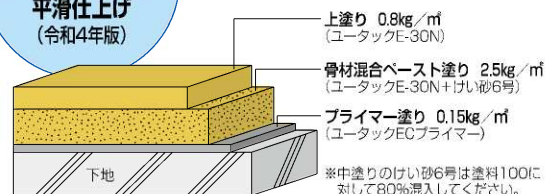


●本工程には別途1.2mm厚の仕様があります。

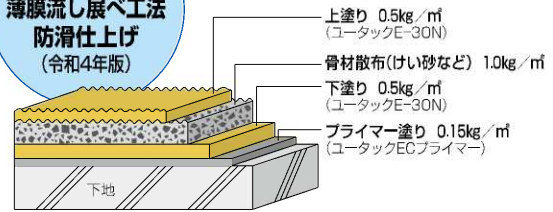
### 公共建築工事標準仕様書 薄膜流し展べ工法 平滑仕上げ (令和4年版)



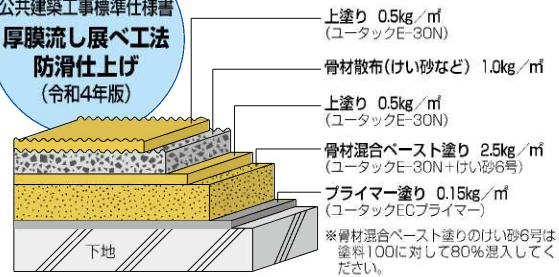
### 公共建築工事標準仕様書 厚膜流し展べ工法 平滑仕上げ (令和4年版)



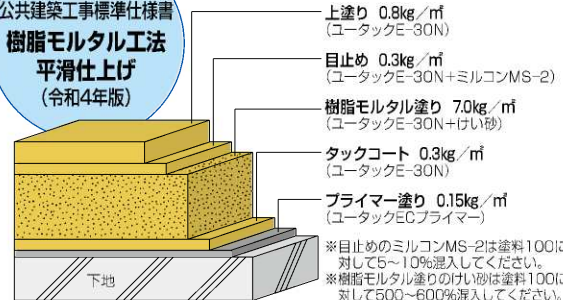
### 公共建築工事標準仕様書 薄膜流し展べ工法 防滑仕上げ (令和4年版)



### 公共建築工事標準仕様書 厚膜流し展べ工法 防滑仕上げ (令和4年版)

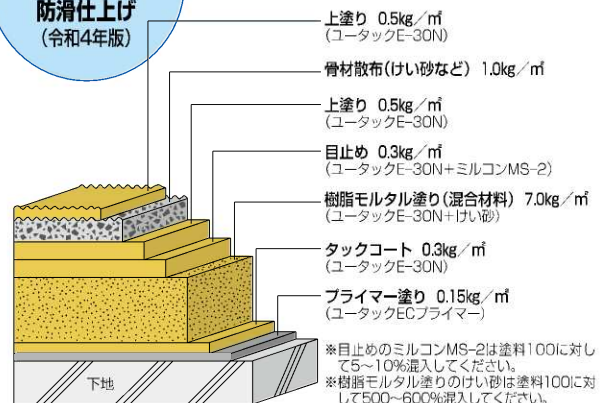


### 公共建築工事標準仕様書 樹脂モルタル工法 平滑仕上げ (令和4年版)



●樹脂モルタル塗りの塗料に対するけい砂の配合量は、①ページをご参照ください。

### 公共建築工事標準仕様書 樹脂モルタル工法 防滑仕上げ (令和4年版)



●樹脂モルタル塗り(混合材料)の塗料に対するけい砂の配合量は、①ページをご参照ください。

# ユータック素地調整仕様

理想的な表面仕上げを行うためには、確実な素地状況の確認と素地調整が必要です。下地の状況(強度・乾燥状態・表層状態・仕上精度・構造)によっては、塗り床材としての本来の性能が発揮されない場合があります。

## 素地

- ①素地のモルタル、コンクリートは金ゴテで平滑に仕上げてください。
- ②コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。
  - 表面強度……1.5N/mm<sup>2</sup>以上
  - 圧縮強度……21N/mm<sup>2</sup>以上
- ③打設後の養生は充分に行ってください。
  - コンクリート……夏季(打設後3週間以上)、冬季(打設後4週間以上)
  - モルタル……夏季(打設後2週間以上)、冬季(打設後3週間以上)(ケツト科学水分計 HI-500または520-2 コンクリートレンジの表示値が5%以下)  
※デッキプレートなどに打設した場合は乾燥が遅れますので、さらに乾燥養生が必要となります。
- ④コンクリート、モルタルの下から、水や湿気が上昇するような構造の場合は防湿層が必要となります。

## 素地調整

- ①表面は凹凸のないよう平滑にしてください。
- ②表面のレイタンスは研削機(ライナックスなど)やポリッシャーなどの研磨機で除去してください。
- ③素地の欠損部は施工に適した素地調整材を用いて平滑にしてください。
- ④素地の油脂やゴミ、ほこりなどは完全に除去してください。
- ⑤素地の吸い込みが激しい場合はプライマーを十分に浸透させ、目止めになるように塗布してください。
- ⑥素地の水濡れ、屋外での雨天時の施工は塗膜のフクレ、剥離、硬化不良の原因となりますので絶対に避けてください。
- ⑦水を使用する箇所では水勾配をコンクリート、モルタルなどで取ってください。

### ●レイタンスとは……

コンクリートの骨材中の泥やセメントに含む粘土が浮き水で上昇し、乾燥固化した粉状の層であり、皮スキなどでこすると簡単に取れます。このレイタンス層は塗料との付着性を阻害し、剥離を起こす要因となります。



## 強化コンクリート・緻密コンクリート・アスコン(アスファルトコンクリート)

### ■強化コンクリート

着色された鉱物系コンクリート(カラーコンクリート)は非常に強度があり、表面が緻密なコンクリートです。これらの強化コンクリートは塗料を吸い込みにくく、付着性が悪く簡単に剥離する可能性があります。そのため、物理的に付着性を向上させる必要があり、研削機(ライナックスなど)やブラストなどで表層を研磨し、表面を粗面にする必要があります。

### ■緻密コンクリート

コンクリート打設時に機械押さえ処理を行った場合やコンクリートへの水の配合比が少ない場合などは、下地の表面が緻密になる傾向があります。その場合、コンクリート表面に艶が生じ、上記と同様に塗料が吸い込みにくく、塗料の付着が弱くなるため、研削機(ライナックスなど)やブラストなどで表層を研磨し、表面を粗面にする必要があります。

### ■アスコン(アスファルトコンクリート)

※塗り床材の種類・用途により、施工可能なものと不可能な場合があります。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。

#### ●素地

- ①アスコンは密粒アスコンとし、凹凸のないように均一に打設してください。
- ②アスコン施工時の転圧は充分に行い、強度のある下地を形成してください。
- ③新規打設の場合は1週間以上の養生期間をとるようにしてください。
- ④アスコン転圧時の油分が付着または残っていないようにしてください。
- ⑤降雨などにより、下地の水分が多い場合は十分に乾燥させてください。

#### ●素地調整

- ①泥などの汚れ、異物が付着している場合は、すべて除去後に表面を清掃してください。
- ②5mm以上の段違いがある場合は、あらかじめ補修してください(別途に費用が必要となります)。

# ユータック改修下地調整仕様

## 改修下地の品質

項目	品質	不具合の可能性
下地表面強度	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上(建研式接着力試験機)	剥離、フクレ
下地圧縮強度	21N/mm <sup>2</sup> 以上	凹み
既存塗膜の付着強度	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上(建研式接着力試験機)※1	剥離
下地含水率	5%以下(ケツト科学社製水分計HI-500またはHI-520-2のコンクリートレンジ)	剥離、フクレ、発泡
表面状態	油分など付着阻害物質が除去されていること	剥離、フクレ、ハジキ、しわ

※1：既存塗膜の付着強度は、改修材料、使用目的により基準は異なります。  
また、塗り重ねを行う塗り床材との組み合わせにより、既存塗膜の撤去が条件となる場合があります。

## 改修下地調整方法

### 強化コンクリート下地

- カラーコンクリート……………コンクリート一体型の着色がされている。
  - 金属系コンクリート一体型工法……………コンクリート表面に金属フレークが見える。
  - 表面強化剤……………表面に光沢があり、水分がしみ込まない平滑な床面
- 研削機(ライナックスなど)やブラストによる研磨が必要となり、プライマーの付着試験が必要です。

### 湿潤面

送風機や換気扇などにより通風を良くし自然乾燥を行ってください。工期の制約がある場合、ジェットヒーターやバーナーなどで強制乾燥を行ってください。下地の脆弱層は研磨を行ってください。

\* 水分を使わない場所で、下地の濡れ色や既存塗膜裏面に湿潤が確認された場合は、施主、元請と協議を行い防湿層、水路の確認を行ってください。

### 油潤面

固化した油分をケレン除去した後、動植物油はアルカリ性洗剤や専用薬剤で、機械油は中性洗剤や専用薬剤でそれぞれ除去してください。下地に染み込んでいる場合は、はつり機で含浸層を撤去してください。

\* 下地の脆弱化が進行しているため、健全な層まで研削を行ってください。

### ひび割れ

ひび割れに沿ってUまたはVカットを行ったのち、樹脂モルタルや樹脂パテで埋め戻しを行ってください。微細なひび割れは、樹脂パテで埋め戻しを行ってください。

\* 動きのあるひび割れや深いひび割れ箇所は、露出仕上げとしてシーリング材などで仕上げを行ってください。

### ワックス塗布面

ユータックEシンナーなどを既存塗膜面に少量たらし、指でシンナーがなくなるまでラビングを行ってください。シンナーが完全乾燥したのち、ラビングした外周が白くなった場合、ワックスが塗布されています。

\* ワックスリムーバーなどを用いワックスを除去したのち、研削機(ライナックスなど)やポリッシャーによる目粗しを行ってください。

### 既存塗膜

既存塗膜の種類を確認し、不具合箇所を撤去したのち、研削機(ライナックスなど)やポリッシャーによる目粗しを行ってください。

### ※1 C.S.R.値とすべりの程度の関係

C.S.R.	すべりの程度
1.0以上	きわめてすべらない
1.0未満～0.8以上	かなりすべらない
0.8未満～0.6以上	あまりすべらない
0.6未満～0.4以上	すこしすべる
0.4未満～0.2以上	かなりすべる
0.2未満	きわめてすべる

注/評価範囲は上限数値以下で、下限数値を含みません。

### ※2 BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)とすべり程度の関係

濡れた路面すべり抵抗	すべり抵抗標準
65以上	良好：高速走行でも必要条件を満たしすべり事故を繰り返さないようなところ
55以上	概して満足：非常に悪い条件がなければ満足できる。
45以上	良好な環境条件においてのみ満足
45以下	著しくすべりやすい

# ユータック耐薬品性能一覧表

## ●スポット試験

室温23℃にて試薬を滴下し48時間後、外観の変化を観察した

## ●浸漬試験

室温23℃にて試薬に6ヶ月浸漬後、外観の変化を観察した

記号	評価
◎	異常無し 色変化、光沢の低下がなく、塗膜物性に影響のない状態
○	やや外観変化あり 色変化、光沢の低下がわずかに見られるが、塗膜物性に影響のない状態
●	外観変化あり 色変化、光沢の低下は見られるが、塗膜物性に影響のない状態
×	不適 塗膜物性の低下が見られる

※評価結果の欄の数字(%)については、その濃度での結果を示しています。

分類	製品名	試験	ユータックスーパーハードN	ユータックFエコ	ユータックE130ECO/E30N	ユータックE30Nローラー用	ユータッククイックE1-E2	ユータックオリゴマー	ユータックオリゴマー極寒	ユータックVE100		ユータックVE200	
			スポット試験								試験スポット	浸漬試験	試験スポット
無機酸	塩酸	5%	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	硫酸	5%	◎ 30%	◎	●	●	●	◎ 30%	◎	◎	◎	◎	◎
	硝酸	5%	○	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎
	リン酸	5%	◎ 30%	◎ 30%	×	×	×	◎ 30%	◎ 30%	◎	◎	◎	◎
	クロム酸	10%	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎
有機酸	酢酸	5%	○	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	乳酸	5%	○	◎	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	クエン酸	5%	◎ 20%	◎ 20%	●	●	●	◎ 20%	◎ 20%	◎	◎	◎	◎
	蟻酸	5%	○	○	×	×	×	◎ 30%	◎ 30%	◎	◎	◎	◎
アルカリ	水酸化ナトリウム	30%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	● 10%	×
	水酸化カリウム	20%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水酸化カルシウム	飽和	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	アンモニア25%	25%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	塩化カルシウム	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
溶剤	エタノール	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎
	イソプロピルアルコール	100%	×	×	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎
	トルエン	100%	×	×	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎
	キシレン	100%	×	×	○	○	○	×	×	×	×	◎	◎
消毒剤	次亜塩素酸ナトリウム	12%	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	過酸化水素水	30%	○	×	●	●	●	×	×	○	×	◎	×
燃料・オイルその他	ガソリン		×*	○	◎	◎	◎	◎	×*	×*	◎	◎	◎
	灯油		◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	軽油		◎	○	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎
	A重油		○	●	◎	◎	◎	○	○	-	-	-	-
	機械油		◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	切削油(水溶性)		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	切削油(非水溶性)		×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	食器用洗剤		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	大豆油		◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	サラダ油		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	砂糖水	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
	食塩水	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-

※揮発性の高い溶剤ですので、少量こぼしたり、すぐに拭き取れば、使用上問題ありませんが、長時間浸漬したり定期的に浸される環境では、塗膜の軟化や艶引けが見られますのでご注意ください。

●耐薬品性能一覧表は、当社試験室内で実施した試験に基づくもので、実際の現場での性能を保証するものではありません。

# 日本特殊塗料株式会社

## ■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762

- 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nittoryo.co.jp/>

## ■代理店

## 水性硬質ウレタンコンクリート系塗り床材 ユータックコンプライト CPM-T工法 標準施工仕様書

【4.0mm厚】【艶消し 巾木、側溝、釜下仕様】

工 程	材 料 の 調 合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工間隔 (23℃)
素地調整	・素地のレイタンス、エフロ、油脂類、既存塗膜などは除去してください。 ・平部の両端部、立上り面の両上部は10mm×10mmのUカットを行ない、目地を設けてください。 ・端部はUカットし縁切りを行なってください。※1 ・下地に浮き水がなく、十分に乾燥していることを確認してください。 (ケット水分計 HI-500又はHI-520のコンクリートレンジの表示値5%以下を目安)				
タックコート	ユータックコンプライトCP-T A 液※2 1.0kg※5 硬化促進剤※3 0~0.03kg B 液 1.0kg※5 Tパウダー※4 1.5kg	ローラー 刷毛	7分以内	0.10~0.30	直ちに
上塗り	ユータックコンプライトCPM-T A 液※2 2.0kg 着色トナー 0.3kg 硬化促進剤※3 0~0.06kg B 液 2.0kg Mパウダー※4 18kg ミルコンMS-2 0.4~0.6kg	金ゴテ	15分以内	8.00	養生期間 12時間以上

※1: Uカットを入れた後、目地部の凹みを消してください。

※2: コンプライト A液は分離しやすいため、使用前に必ずよく攪拌してください。

※3: 硬化促進剤の添加量は、下記の表を参考に雰囲気温度から決定してください。

※4: コンプライト Tパウダー混合後、十分な攪拌を行なってください。色ムラなどの不具合が発生する場合があります。

※5: コンプライト A液およびコンプライトB液は各々の4kgもしくは2kg(夏型B液は4kgのみ)を小分けしてください。

ユータックコンプライトCP-T 硬化促進剤と可使時間について A液 1kgに対しての添加量

硬化促進剤添加量	B液				夏型B液	
	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
0g	—	—	—	20分	20分	15分
10g (1%)	—	25分	20分	15分	—	—
20g (2%)	25分	20分	15分	10分	—	—
30g (3%)	20分	15分	10分	—	—	—
40g (4%)	15分	—	—	—	—	—

・A液に硬化促進剤を加え20秒程度攪拌→B液を添加して5~10秒攪拌した後、攪拌しながらパウダーを調合して、1~2分間、混合してください。

・15℃以下の雰囲気温度では、必ず上記の表に基づいて添加してください。添加量が不足した場合、不具合が発生します。

ユータックコンプライトCPM-T 硬化促進剤と可使時間について A液 2kgに対しての添加量

硬化促進剤添加量	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
0g	—	—	20分	16分	13分	10分
20g (1%)	25分	20分	15分	10分	—	—
40g (2%)	20分	15分	10分	—	—	—
60g (3%)	15分	10分	—	—	—	—

・A液、トナー、硬化促進剤を加え20秒程度攪拌し、B液を添加してから5~10秒攪拌した後、攪拌しながらパウダーを混合してから、1~2分間混練してください。

・15℃以下の雰囲気温度では、必ず上記の表に基づいて添加してください。添加量が不足した場合、不具合が発生します。

### 注意事項

- ・施工にあたっては、カタログ及び、製品ラベルに記載の注意事項をよく読んでご使用ください。
- ・上記仕様に記載の数値は、標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じます。
- ・気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。

- ・屋外施工では翌日までに、降雨、降雪が予想される場合の施工は避けてください。
- ・材料は直射日光を避け、室温5°C以下、30°C以上にならない屋内で保管してください。
- ・できるだけ皮膚に触れないように取り扱いいただき、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋などの保護具を着用してください。
- ・換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- ・溶剤系塗料の場合は、引火性がありますので、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。
- ・材料の付着した布やウエスなどは、自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- ・多液型塗料の場合は、電動攪拌機で充分に攪拌し、硬化不良にならないようご注意ください。
- ・A液とB液を混合し、容器中に放置しますと急激に発熱し、危険な状態になることがありますので仕様書の手順を守ってください。
- ・その他に関しては、カタログ記載の注意事項をご参照ください。